

山梨・富士川地域・身延線沿線の春夏秋冬

特産物・観光スポット



身延線沿線トレッキングガイド



JR東海沿線ガイド | 身延線



身延線沿線観光協議会



NPO法人・富士川・夢・未来

春

大法師公園

日本さくら名所100選に選ばれた公園。園内には2,000本を超えるさくらが植えられている。毎年4月上旬には「大法師さくら祭り」が開催され県内外より多くの観光客で賑わいます。



歌舞伎文化公園ぼたんの花

歌舞伎の名門市川団十郎発祥の地を記念して作られた公園。文化資料館をはじめ、ふるさと会館や民俗資料館などがあります。また、毎年4~5月には4,000本の牡丹が咲き競う牡丹の名所としても有名です。



富士川クラフトパーク

東京ドーム約11個分の大規模公園。園内には、桜、チューリップなど季節の花々を楽しむことができます。



宝寿院しだれ桜

平安時代に栄えた平塩山白雲寺のひとつで、境内にはシダレザクラが咲き、美しい風景をかもしています。



竹炭まつり

竹炭関連製品には、竹酢液・工芸品・安眠枕及びパワーシートなど組合で加工している製品と、竹炭ロールケーキなど民間企業と共同開発を行っている製品があり、多岐にわたります。また、4月下旬には竹炭まつりが行われます。



身延山久遠寺しだれ桜

身延山の春は、報恩閣前のしだれ桜をはじめ、お山全体の桜が一斉に咲き誇り、まるで花の浄土のように華やかです。



たけのこ

春が旬の南部町特産品。たけのこ掘り体験もできます。4月の下旬には直売などを行うお祭りが開かれます

原間のイトザクラ

旧法眼寺境内の南側に、町内一のイトザクラの巨樹が佇んでいます。細い枝は地面に届くほど垂れ下がり、淡い紅色の花をいっぱい咲かせ、町の春を彩ります。



夏



小室山妙法寺あじさい

妙法寺境内一面に、色とりどりのあじさい約2万株が咲き乱れます。6月下旬から7月上旬にかけてあじさい祭りが毎年開かれていて多くの観光客の方が訪れています。



峡南の夏祭り

2009年から始まった富士川クラフトパーク内で行われるイベント。約1000個のカップロウソク点灯とフットライトロードの出現そして園内12か所に巨大「光の切り絵」投影など、園内全体が光に染まる幻想的なお祭り



茂倉ウリ(モグラウリ)

早川町茂倉地区は、標高800mの南アルプスの麓に位置する。茂倉うりは、この地区で代々自家採種しながら約130年前から栽培されてきた。



南部のあじさい

6月下旬に「自然と人との調和」をテーマに催される花のお祭り。メイン会場のうつぶな公園には70種約2万5千株ものアジサイが植えられていて、訪れる人々は鮮やかに先そろった花の中を散策できます。



甘々娘(カンカンムスメ)

市川三郷町大塚地区の肥沃な土が育てたとうもろこし『甘々娘』は粒皮が柔らかく甘味が強い(糖度15度)のが特徴です。5月下旬から7月中旬頃までみたまの湯の直売所で売られ多くの方から人気を得ています。6月の中旬にはみたまの湯駐車場で収穫祭も行われます。

神明の花火

伝統ある市川花火を継承する県内最大規模(20,000発)の花火大会で、毎年8月7日に20万人を超える観客で賑わい、盛大に行われます。



富士川ラフティング

アウトドアスポーツ「ラフティング」。特殊な素材で作られた丈夫なゴムボートで富士川をくだります。富士川は日本三大急流の一つ。穏やかな流れと激流ポイントが交互に訪れます。



南部の火祭り

8月15日に行われる夏の一大風物詩「南部の火祭り」は盆の送り火と川供養の奇祭であると同時に稲を病害虫から守るための虫送りの意味も込められていると云います。



秋

大柳川溪谷

富士川町十谷地区、大柳川溪谷には、大小10本の吊橋と数々の滝をめぐる遊歩道があります。全行程をのんびり散策して、所用時間は1時間30分から2時間ぐらいです。春は新緑、秋は紅葉と四季折々の自然を満喫できます。



ゆず

関東一の生産量を誇り、その品質の高さで全国に知られています。11月中旬には毎年「ゆずの里祭り」が開かれています。



曙大豆

曙大豆は身延町曙地区の特産品。明治時代に関西地区から導入された大豆で、粒が大きくたんぱく質と脂肪が豊富で独特の風味があるのが特徴。この大豆が曙地区で長い間栽培されてきたことから、曙大豆と呼ばれる様になりました。枝豆として出荷される他、味噌や豆腐に加工され、その味や食感が好評を博しています。



西嶋のコスモス

10月になるとコスモスマつりも行われ、コスモスの花が和紙の里では周辺をピンク色に染めます。毎年お祭りも開催されます。



四尾連湖

昭和34年には、山梨県立自然公園に指定され、いまなお俗化されず、その自然環境を保ちつづけ、四季折々、自然の様々な表情を湖水に写し出しています。10月下旬～11月上旬の湖畔は紅葉でいっそう美しいです。



印章供養祭

身分証明の役目を終えた印鑑を、感謝の気持ちを込めて供養してあげて下さい。皆様に代わり当組合では10月1日に開催する「印章供養祭」において、無料で供養いたします。

ラ・フランス

町の新たな特産品を目指し、ラ・フランスをはじめとする西洋梨の栽培が進められてきました。うっとりする香り、とろける甘味はくだもの頂点、女王と言えます。風の少ない地域で、土壌・気候に恵まれ太陽の光を浴びて、甘くみずみずしい果実を収穫しております



本国寺のお葉つき銀杏

弘安五年秋深い日、日蓮聖人持病いよいよ重くなり、常陸へ湯治にと向かう途中本国寺に一泊したとき、一本の銀杏を植えられたのが七百年の星霜を経た今日、樹勢旺盛のお葉つき銀杏で沢山の実を葉につけ、これまた国の天然記念物イチヨウの七本のうちの一本である。



冬



ダイヤモンド富士

高下地区(たかおりちく)は、冬至から元旦頃にかけて、富士山頂からの日の出が見られダイヤモンド富士と呼ばれる絶景ポイントです。この地区を通称「日出づる里」と呼び、年末年始には、カメラ愛好家など大勢の人で賑わいます。ここからの富士の眺望は関東の富士見百景に認定されています。



身延山節分会

2月3日、久遠寺で豆まきが行われ、数千人の人でにぎわいます。



みたまの湯 クリスマス花火

2008年から始まった冬花火イベント
12月24日のクリスマスイブの夜に打ち上げます。



大塚にんじん

長いものは1m20cm近くあり、味が濃く、香りが高いと評判です。11月下旬から2月の中旬まで収穫され12月の第1土曜日には収穫祭がみたまの湯駐車場で行われています。

南天の里



身延町の下山地区には、「南天の里」と呼ばれる地区があります。この地区に入ると、南天畑や庭先に南天がたくさん植えられています。12月中旬頃には、クリスマス用・お正月用として、この南天が首都圏に出荷されます。また、南天ワインも販売しております。

通年

「つくたべかん」 みみ

小麦粉をこねて箕
(みみ)型にした、旧
鯉沢風ほうとうです。



なかとみ和紙の里

「なかとみ和紙の里」は、
工芸美術にふれる「なか
とみ現代工芸美術館」、
手漉きが体験できる「漉
屋なかとみ」、全国の和
紙をとりそろえた「紙屋な
かとみ」、四季の味を堪能
できる食処「味菜庵」の
4施設からなっています。



雨畑硯(アメハタズリ)

雨畑川の渓谷で永い眠りから
覚めた雨畑真石(雨畑石)の原
石は、程よい黒の輝きを放つ、
自然が造形した逸品です。雨畑
硯は、職人の確かな技で七百
余年延々と彫り継がれ、多くの
墨客に愛用されています。



赤沢宿

赤沢は、身延山奥の院と七面山敬慎院を結ぶ講
中宿として古くから栄えてきました。平成5年には、
国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、
江戸時代から明治時代にかけての町並みや石畳
などを復元しています。また、8月14日には千個
の提灯が並ぶ千燈祭が催されます。



大門碑林公園

中国で最も著名な西安碑林、
曲阜碑林、の名碑を集めた
公園。中国歴代の名碑15
基を、創建当時のままに復
元しています。その他、武
田信玄公自筆の願文の碑
など、拓本ができるものも5
0種類ある。



湯之奥金山博物館

武田氏を支えていた甲州
金。毛無山中腹にはこの
湯之奥金山の遺跡が残り
ます。下部温泉郷にある
湯之奥金山博物館では、
戦国金山の歴史を紹介し
ています。



ゆばづくし定食

ゆばの里

日蓮聖人が食された、七百年の歴史ある伝統
食です。まろやかな味わいでとってもヘルシー！
女性にも人気です。

切り絵の森・美術館

「切り絵」の分野では初めての試みとなる
美術館の誕生です！
一流作家作品を企画展方式で順次展示し
ていきます。



ふじかわ紀行

Fujikawa Travel of healing

MAP 身延線沿線やすらぎの旅



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用したものである。(承認番号 平19関使 第3号)